

成人期の小児がん患者の診療体制、診療状況について

別紙6

※網掛け医療機関は、小児がん診療を行っていないと回答した施設

No	施設名	状況について
1	千葉県こども病院	基本的にJCOG(日本小児がん研究グループ)に所属する研究代表者が主導する、臨床研究に登録できる患者であれば15歳以上でも診療は行っている。(18歳あるいは20歳以下まで新規登録が可能な臨床研究がある。)
2	千葉大学医学部附属病院	初発治療は行っていない。治療終了後のフォローアップは小児科で行っているが、合併症の治療自体は該当成人診療科で診療してもらっている。
3	千葉県がんセンター	【腫瘍・血液内科】 他施設で診断・治療された患者さんが成人に達した場合に診療を引き継ぐことはあります。小児の血液疾患を最初から自施設で診療することはありません。 【整形外科】 当院では小児科はなく、整形外科にてがんの患者さんをみています。したがって、6歳以上の骨肉腫などの肉腫患者さんはすべて当院でみています。ただし、横紋筋肉腫は当院腫瘍血液内科で抗がん剤治療を行ってもらっています。治療後の経過観察に関しては骨肉腫患者さん、ユースング肉腫患者さんは、化学療法や放射線治療晩期の障害の可能性もあり、できる限り毎年一回経過観察を行っていますが、実際には十年を超える経過観察率は50パーセント以下となっているのが現状です。
4	千葉市立青葉病院	診療は行っていない。
5	千葉こどもとおとなの整形外科	小児がん診療は行っていない。
6	順天堂大学医学部附属浦安病院	18歳以降のどこかの時点で、自施設内の成人の診療科へ移行している。
7	東京女子医科大学附属八千代医療センター	現在、成人期の小児がん患者はいない。
8	東京ベイ浦安市川医療センター	当院では診療していません。
9	船橋市立医療センター	20歳以上の患者を診る体制がないため、年齢に達した時点で診療終了としている。
10	船橋二和病院	小児白血病で成人になった方は定期診療し、再発がないかどうかフォローしている。必要時、小児科の白血病専門医(こども病院)にコンサルトしている。
11	松戸市立総合医療センター	脳神経外科ができたのが数年前なので、現段階では成人期に達した患者がいらないが、移行期医療は可能である。その他の成人期の小児がん患者は、18歳以上の患者は自施設内の内科にコンサルテーションしながら、主担当科は小児科で診ている。
12	千葉西総合病院	—
13	キッコーマン総合病院	現在、成人期の小児がん患者はいない。
14	名戸ヶ谷あびこ病院	対象となる患者はいません。
15	東葛病院	当院では、血液腫瘍専門医が残念ながら不在ですので、外来化学療法はやれてますが、あくまで成人のみです。小児がんは経験がないと思われます。
16	東京慈恵会医科大学附属柏病院	当科では血液・腫瘍専門小児科医が長期にわたり不在のため、現在、血液腫瘍関連の患者はキャリアオーバー症例も含めて管理は行っていない。今後も予定は特になような状況です。
17	成田赤十字病院	20歳以上でも、自施設で診療しています。合併症、その他により、自施設他科に依頼する症例もあります。また、転居、就職などで他施設に紹介する症例もあります。
18	日本医科大学千葉北総病院	18歳以上の患者は自施設内の内科にコンサルテーションしながら、主担当科は小児科で診ている。
19	下志津病院	小児がん患者の診療をしていないので、成人期に移行した症例もない。
20	聖隷佐倉市民病院	成人期の小児がん患者の診療は行っておりません。
21	亀田総合病院	腫瘍内科にて診断・加療。
22	安房地域医療センター	当院では行っておりません。
23	千葉労災病院	診療していません。